

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文の中における主語と述語との関係を捉える力が身に付いている。
- 描写を基に、登場人物の相互関係や心情などを捉える力が身に付いている。
- 漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。
- 事実と感想、意見とを区別して、考えが伝わるように書き方を工夫することに課題がある。

【算 数（数学）】

- 小数についての計算力が身に付いている。
- グラフや表などを読み取り、必要なデータを取り出し整理する力が身に付いている。
- 読み取った情報を基に判断したり、その根拠を数や式、言葉で説明したりする問題に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 友達との対話を通して、自分の考えをつくったり深めたりする力が身に付いている。
- 自分で努力すべきことなど、志をもって生活する力が身に付いている。
- 自分のよいところやできていること等、自分を肯定的に捉えようとする意識に課題がある。
- 諦めずに考えたり、別の方法でできないか考えたりしようとする意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・国語、算数の学習ははじめの習熟タイムの設定（文法や計算などの基礎基本問題）
- ・全校での授業改善の推進（考えを伝え合う時間の設定など学年の実態に応じて）
- ・みなかぜ塾における定着や復習の時間の設定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・自分の考えをつくる、伝える時間を位置付けた授業づくり
- ・国語、算数の習熟タイムの課題内容の見直し

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・学習段階に応じて目的をもった交流の場の設定
- ・全校での志ノートの取組（毎週の個人の志や学級の志など）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・目的とねらいを明確にした家庭学習の課題の設定
- ・日常生活につながる学習課題を設定した授業づくり